

いのちをまもるPARTNERS  
医療安全全国共同行動

# 医療安全全国共同行動

## “いのちをまもるパートナーズ”

<http://kyodokodo.jp/>

# 事業目標

## (医療機関)

- 安全対策の実施・徹底を通じて有害事象と有害事象が関わる可避死を低減する
- 医療現場に安全の文化を浸透させ、医療の質・安全を確保し向上させる組織能力の基盤を作る
- 職種や立場を超えた協力体制を構築する

# 発生後対策(リスクマネジメント)から 未然防止(患者安全/Patient Safety)へ

「安全を重視するシステムへの改善と改革」を

「モグラたたき」から、「モグラが住めない環境」づくりへ

有害事象に関する目標

S. 安全な手術  
—WHO 指針の実践

1. 危険薬の誤投与防止

2. 周術期肺塞栓症の防止

3. 危険手技の安全な実施

4. 医療関連感染症の防止

5. 医療機器の  
安全な操作と管理

6. 急変時の迅速対応

7. 事例要因分析から改善へ

8. 患者・市民の医療参加

組織基盤強化  
に関する目標

## 行動目標1. 危険薬の誤投与防止

【目標】危険薬の誤投与に起因する死亡を防止する。

【推奨する対策】

1. 危険薬の啓発と危険薬リストの作成・周知
2. 高濃度カリウム塩注射剤、高張塩化ナトリウム注射剤の病棟保管の廃止
3. 入院時持参薬の安全管理
4. 抗がん剤治療プロトコルの院内登録制度
5. 「危険薬の誤投与防止ベストプラクティス16」の実施(チャレンジ)

## 行動目標2: 周術期肺塞栓症の予防

**【目標】周術期肺塞栓症による死亡を防ぐ**

**【推奨する対策】**

1. 適正予防策選択のための総合的評価の実施
2. 予防策の確実な実施と安全管理
3. 肺塞栓予防の重要性に関する職員教育の徹底
4. 患者への説明と患者参加の促進
5. ハイリスク患者へのスクリーニング検査の実施(チャレンジ)
6. 肺塞栓症の早期診断・治療マニュアルの作成(チャレンジ)
7. 予防的抗凝固療法の安全管理(チャレンジ)

医療安全全国共同行動

## 行動目標 3a: 危険手技の安全な実施

### 経鼻栄養チューブ挿入時の位置確認の徹底

**【目標】** 経鼻栄養チューブの挿入留置手技に伴う有害事象とこれに起因する死亡を防ぐ

**【推奨する対策】**

1. 経鼻栄養チューブの挿入と位置確認のためのマニュアルの策定及び順守
2. 空気聴診法を位置確認の確定判断基準にしない
3. 初回挿入留置時はX線撮影で位置確認を行う
4. pH測定による補強確認を励行する(チャレンジ)

## 行動目標 3b: 危険手技の安全な実施

中心静脈カテーテル穿刺挿入手技に関する安全指針の策定と順守

**【目標】 中心静脈カテーテルの穿刺挿入手技に伴う  
有害事象とこれに起因する死亡を防ぐ**

**【推奨する対策】**

1. TPNとCVC留置適応の厳格化
2. 安全な穿刺手技等の標準化
3. 安全手技の教育体制の構築(チャレンジ)

## 行動目標4：医療関連感染症の防止

【目標】医療行為が関わる感染症死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 手指衛生の徹底
2. 標準予防策・接触感染予防策の強化
3. 環境と器具の清浄化

\* WHO “Clean Hands” Campaign

*Enhancement of Healthcare-Associated Infection Control*

医療安全全国共同行動

## 行動目標 5. 医療機器の安全な操作と管理

### 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全管理

【目標】 輸液ポンプ・シリンジポンプが関わる有害事象と  
これに起因する死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 輸液ポンプ・シリンジポンプの保守点検の確実な実施
2. 操作者マニュアルの作成と教育の徹底
3. 操作者用チェックリストの作成と適正な運用
4. 機種<sup>①</sup>の統一(チャレンジ)
5. 院内認定制度の確立(チャレンジ)

## 行動目標 5. 医療機器の安全な操作と管理 人工呼吸器の安全管理

【目標】 人工呼吸器が関わる有害事象とこれに起因する  
死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 人工呼吸器の保守点検(日常・定期点検)の確実な実施
2. 始業時と使用中は換気や警報の設定を人工呼吸器チェック表を用いて確認する
3. 生体情報モニタを必ず装着する
4. 人工呼吸器関連肺炎(VAP)の予防(チャレンジ)
5. 人工呼吸器使用場所の限定(チャレンジ)
6. 警報対応態勢の確立(チャレンジ)

## 行動目標 6. 急変時の迅速対応

**【目標】 医療行為に伴う院内急変事例の死亡を防ぐ**

**【推奨する対策】**

1. 有害事象に対する緊急対応手技の浸透
2. 心肺蘇生法の職員教育の徹底
3. 院内救急計画の策定と体制づくり
4. 容態変化への早期対応態勢(RRS)の確立(チャレンジ)



29

## 行動目標 7: 事例要因分析から改善へ

**【目標】 有害事象や死亡事例の要因分析に基づく  
システムの改善**

**【推奨する対策】**

- 1. 事例要因分析の手法の周知と職場での実施**
- 2. 事例要因分析で明らかになった課題に関する改善  
活動の実施**
- 3. M&Mカンファレンス (Morbidity & Mortality Conference)  
のプログラム化 (チャレンジ)**

## 行動目標 8: 患者・市民の医療参加

【目標】 患者・市民と医療者のパートナーシップを通じてケアの質・安全と相互信頼を向上させる

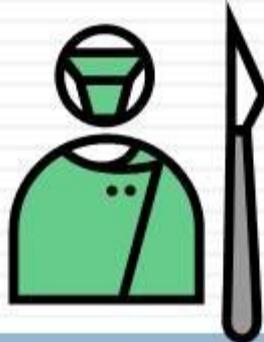
【活動】

1. 患者さんや地域の市民が参加・参画して医療の質・安全を向上させる活動を新規に実施する。
2. 活動の成功体験や教訓を共同行動HPから紹介する。

◆ 支援ツールを用意している参考モデル

- (a)「安全は名まえから」(患者と医療者の協同によるフルネーム確認)
- (b)「からだと病気を知るために」(院内患者図書室の設立)
- (c)「転ばぬ先に」(患者参加の転倒転落防止)
- (d)「3つのポンプを働かせよう」(仮)(患者参加による周術期肺塞栓症の予防)
- (e)「1冊にまとめて安心お薬手帳」(お薬手帳による処方と与薬の安全管理)

その他どのような活動でも結構です。参加病院からご提案いただくことで、さまざまな活動が広がることを期待しています。

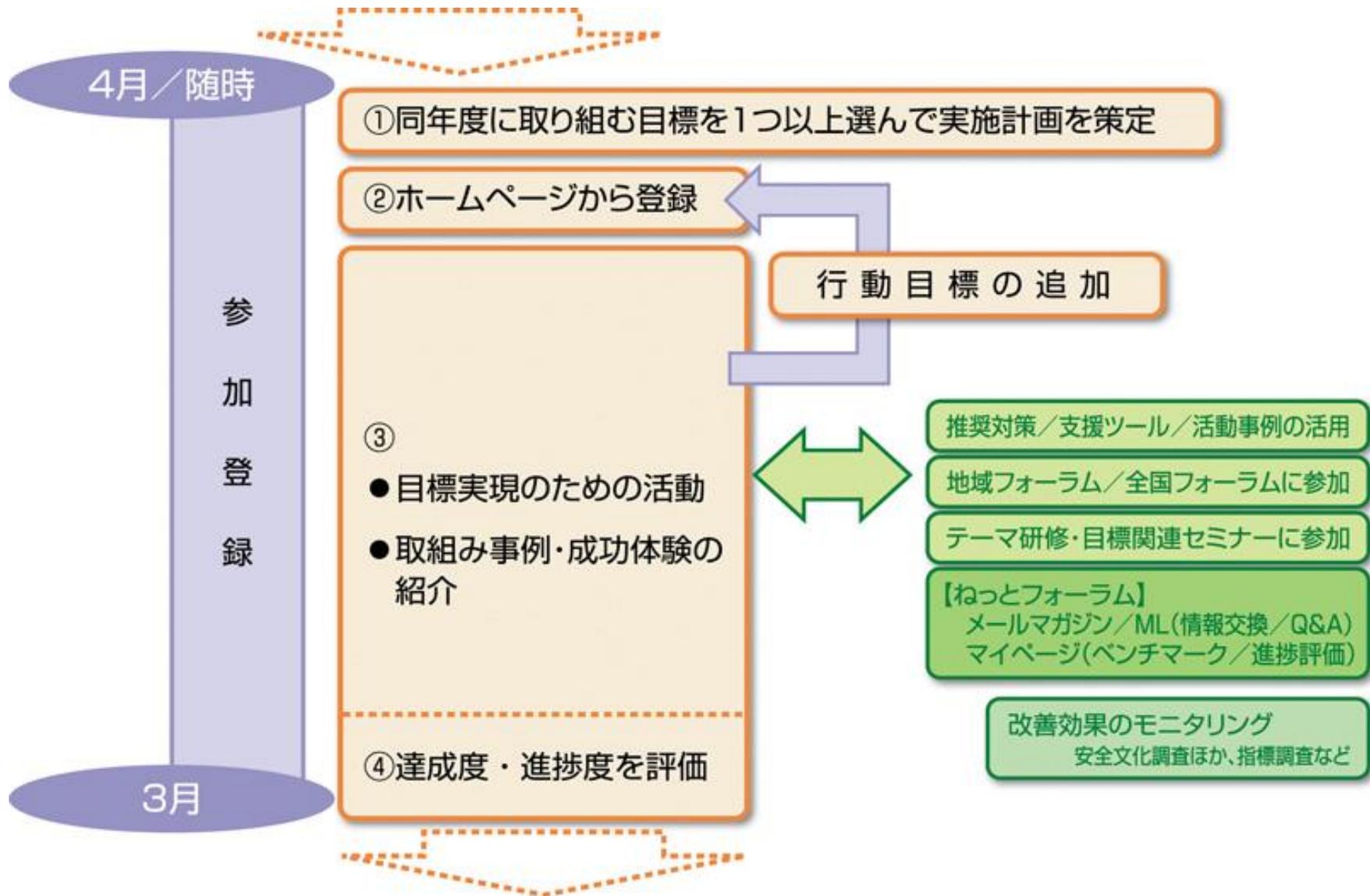


## 行動目標 **S**: 安全な手術-WHO指針の実践

- (1) 正しい患者の正しい部位を手術する
- (2) チームは、患者を疼痛から守りながら、麻酔薬の投与による有害事象を防ぐことが分かっている方法を用いる
- (3) 命にかかわる気道確保困難もしくは呼吸機能喪失を認識し適切に準備する
- (4) 大量出血のリスクを認識し適切に準備する
- (5) 患者が重大なリスクを持っていると分かっているアレルギーあるいは薬剤副作用を誘発すること避ける
- (6) 手術部位感染のリスクを最小にすることが分かっている方法を一貫して用いる
- (7) 手術創内に器具やガーゼ(スポンジ)の不注意な遺残を防ぐ
- (8) 全ての手術標本を確保し、きちんと確認する
- (9) 効果的にコミュニケーションを行い、手術の安全な実施のために極めて重要な情報をやりとりする
- (10) 病院と公衆衛生システムは、手術許容量、手術件数と転帰の日常的サーベイランスを確立する

## 医療安全の実現に取り組んでおられる病院・診療所に 共同行動への参加を呼びかけます

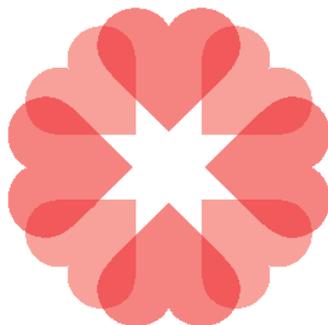
- 共同行動の趣旨と行動目標にご賛同いただける病院は、キャンペーン期間中に取り組む行動目標を一つ以上選んでHPから登録し、その進捗と成果をご報告ください。
- HPから提供するツールやさまざまな支援活動の機会を活用し、互いに学びあい教えあうことを通じて、これまでなかなか浸透・徹底できなかった懸案課題の実現や新しい展開にチャレンジしてください。
- すでに成功をおさめた課題について、HPや地域内の交流を通じて、地域や全国の病院に成功事例や成功体験に基づくアドバイスをご提供ください。



# 医療安全全国共同行動 参加登録証

2013年度

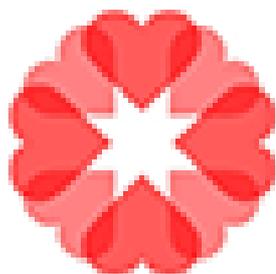
公益社団法人地域医療振興協会  
伊東市民病院 殿  
(登録番号 0594)



貴施設は医療の質と安全の向上をめざす  
医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”  
に参加していることを証します

一般社団法人医療安全全国共同行動  
議長 高久史磨





私たちは  
医療安全全国共同行動  
“いのちをまもるパートナーズ”  
に参加しています

# 医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”実施体制

共同行動WEBページ

医療安全全国フォーラム

参加登録施設 (病院・診療所他)

メンター

モニター

“ねっとフォーラム”

地域フォーラム  
／地域セミナー

推奨対策  
／支援ツール

ML／メルマガ

活動報告  
／参考事例

地域推進拠点／支援チーム／アドバイザーパネル

正会員 (医療団体・学会)

賛助会員 (企業・個人等)

(一社)医療安全全国共同行動 運営会議／部会／事務局

		ねっとフォーラムを利用		ねっとフォーラムなし
【参加施設が行うこと】		病院	診療所 (薬局/訪問看護Sとも)	病院
HPからの参加登録		○	○	○
ねっとフォーラム用アドレス登録		○(10名まで)	○(1名)	x
登録情報の変更(必要時)		○	○	○
目標実現のための活動を実施		○	○	○
年度報告(3月)と次年度目標		○	○	○
成果発表・改善事例紹介		任意(推奨)	任意(推奨)	任意(推奨)
【共同行動から提供すること】				
支援ツールへの施設IDでのアクセス		○	○	○
施設名を共同行動HPに公示		○	○	○
ロゴ入り参加登録証発行(バナーとも)		○	○	任意(8千円)
担当者宛お知らせメール		○(連絡担当者)	○(連絡担当者)	○(連絡担当者)
ね っ と フ ォ ー ム フ ォ ー ラ	同報メール	○(登録者)	○	x
	専用ページ	○(登録者)	○(診療所版/準備中)	x
	メールマガジン(隔月)	○(登録者)	○	x
	メーリングリスト	○(登録者)	○(診療所版/準備中)	x
	マイページ	○(登録者)	(検討中)	x
	アンケートと結果報告	任意(回答施設)	任意(回答施設)	x
(共同行動主催セミナーの割引適用)		○	○	x
【参加登録費】(年度あたり)		4万円/2万円	1万円(*5千円)	無料

# 参加登録費用（年度あたり）

## 【病院】

- A. “ねっとフォーラム”を利用する：  
➡ 4万円（200床以上）／2万円（200床未満）
- B. “ねっとフォーラム”を利用しない：  
➡ 無料  
\* 参加登録証の発行を希望する場合；8千円

## 【診療所】 1万円

- \* 県の医師会、歯科医師会、看護協会、薬剤師会に所属する診療所、薬局、訪問看護ステーションは割引適用

# “ねっとフォーラム”

- ①メールマガジン＋②専用ページ＋③メーリングリスト＋④マイページ

● 参加登録施設は、病院長を含む10名まで、メールアドレスを登録します。

- ① メールマガジン(毎月10日)と同報メールを受けとります
- ② “ねっとフォーラム”専用ページ(医療従事者の情報共有ページ)にアクセスできる
- ③ 名前を明示してよい方はメーリングリストに参加できる
- ④ マイページを活用できる (指標モニタリング、アンケート調査など)

# ねっとフォーラム・マガジン

【11/22「医療安全全国フォーラム」「医療安全ミニコース」の案内】

【トピック】ヒヤリハットをどう活かしていますか？

「効果的なインシデントレポート活用方法について—当院における  
取り組み」 ☆**牧 信行氏**（静岡県立総合病院医療安全室）

【連載エッセイ】医療安全における病院長のリーダーシップ

第2回「医療安全に向けた業務標準化と薬剤師への期待」

☆**平川 秀紀氏**（山形市立病院済生館館長）

【ねっとセミナー】河野龍太郎特別講座「低リスク医療システムの  
構築に向けて」—第1回「医療システムの安全性向上のために—

まず現実を直視する」 ☆**河野 龍太郎氏**（自治医科大学医学部  
メディカルシミュレーションセンター長）

【フォーラム／セミナー情報】2013年11月～2014年1月

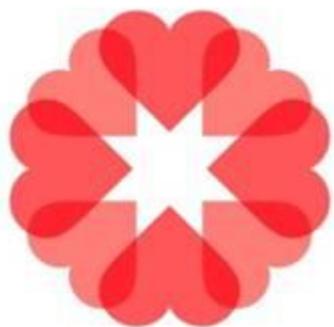
★HP更新情報（公開ページ）

下記の役割で共同行動の推進にご協力いただける病院、個人の方は共同行動事務局までお知らせください。

## ・ メンターホスピタルと地域アドバイザー

参加登録施設のうち、9目標のいずれかに関して安全な医療環境づくりで優れた実績を有し、他の医療機関の取り組みを支援(\*)していただける病院(メンターホスピタル)と、メンターホスピタルの職員で支援活動に協力いただける専門家 (地域アドバイザー)。

\* 成功した取り組み事例とノウハウの紹介、研修機会や参考ツールの提供、施設見学の許可、講師派遣など。



いのちをまもるPARTNERS  
医療安全全国共同行動

# 医療安全全国共同行動

## “いのちをまもるパートナーズ”

<http://kyodokodo.jp/>

